

変化を恐れず挑戦を



関西ペイント株式会社
代表取締役社長 毛利 訓士

新年あけましておめでとうございます。

皆さんとともに、2026年の新春を健やかに迎えられたことを、心より嬉しく思います。

2025年を振り返ると、世界はかつてないほど複雑で不確実な環境に直面した一年でした。地政学的な緊張の高まり、各国の通商政策の変化、資源・エネルギーを巡る競争の激化など、私たちの事業を取り巻く環境は一層厳しさを増しています。

こうした不透明な時代だからこそ、変化に柔軟に対応し、スピード感を持って行動する力を高めていくことが求められます。

今年は、18次中期経営計画の2年目にあたります。「塗料で人を幸せにする」というビジョンのもと、事業の成長と、事業を伸ばすために必要な変革の本格的な実行フェーズに入ります。

欧州における構造改革や、アフリカ地域での「ONE AFRICA」構想など、各地域がそれぞれの課題に真正面から向き合い、国や部門の枠を越えた連携が加速しています。

また、鉄道・建機分野ではグローバル組織への改編を進めるなど、ボーダレスな取り組みも開始しています。これこそが、私たちが目指す「ONE KANSAI」の姿です。

この流れをさらに拡大していくには、グループ内のあらゆる境界を越え、一体となって進むための共通の仕組みと基盤づくりが重要です。

現在はその一環として、グローバル人事制度の整備や、全事業領域におけるDXを推進しています。

しかし、こうした取り組みは、あくまで手段にすぎません。変革を実行するのは、他でもない「人」です。皆さんの一人ひとりの覚悟と実行力こそがすべてです。

変革の歩みには常に試練や困難が伴いますが、だからこそ、どんな課題にも正面から向き合い、聖域を設けず改善することが求められます。その積み重ねが、「塗料で人を幸せにする」という私たちのビジョンの実現へとつながっていきます。

本年も、一人ひとりが覚悟を持ち、変化を恐れず挑戦を続けることで、関西ペイントの未来をともに切り拓いていきましょう。